

1202 蔵王山周辺の総合観測

担当者 三浦 哲 (miura@aob.gp.tohoku.ac.jp)

- ・実施機関（代表機関）名
東北大学大学院 理学研究科
- ・研究目的

1993年に山頂距離約3kmにおける地震観測を開始して以来初めて火山性微動が発現した蔵王山周辺域において、稠密な地震及び電磁気観測、制御震源による地震波速度構造探査等を実施し、火山体直下の詳細な地震波速度構造や減衰構造、比抵抗構造等を推定することにより地殻深部から火山体浅部における流体分布を明らかにする。また、傾斜観測、GNSS観測、InSAR解析、重力観測などにより、火山体変形の時空間的特徴を明らかにする。休止期から活動期に入ったと考えられる同火山の活動の推移を精確にモニターすることを通じてマグマ溜まりや火道などの物理的特性、また、その周辺の応力・ひずみの時空間分布を明らかにする。蔵王山は、東北地方太平洋沖地震の震源域に最も近い活火山であることから、地震時地殻変動や余効変動による大きな応力場の擾乱が、地震活動や火山活動に及ぼす影響を調べるのに最適であり、得られた成果は地震と火山の相互作用の解明や、火山現象のモデル化などに貢献できる。